

学生のアイデアが製品に！「雨を迎え入れるプランター」 9 月 12 日に文化デザイナー学院でコンクリート特別授業を実施 産学連携を通じて、若手人材育成と地域貢献を推進

地域社会のインフラを守るため、災害に強いプレキャストコンクリート製品およびマンホールの開発・製造をおこなう小河原セメント工業株式会社（本社：茨城県水戸市、代表取締役：小河原 隆次）は、2025 年 9 月 12 日（金）、学校法人リリー文化学園 専門学校文化デザイナー学院（建築設計デザイン学科）にて、「コンクリート特別授業」を実施しました。

本授業は、当社代表が委員長を務める茨城県コンクリート製品協同組合 品質技術委員会が 7 月に主催した「プランターコンテスト」を起点とする産学連携プロジェクトの一環です。コンテスト優秀賞に選ばれた学生作品「Rain Collect」を実際に製品化し、12 月の販売を目指しています。当日は、代表取締役社長の小河原 隆次が特別講師を務め、学生たちとともにプランター制作に欠かせない「コンクリート型づくり」に取り組みました。



【コンクリート基礎講座 特別授業概要】

日時：2025 年 9 月 12 日（金）

場所：専門学校文化デザイナー学院（茨城県水戸市泉町 1-2-22）

授業内容：

- ・コンクリートの性質や型づくりの基礎解説
- ・プランター製品化のプロセスを学習

指導者：小河原セメント工業 代表取締役 小河原 隆次

学生数：建築設計デザイン学科 2 年生 8 名

主催：茨城県コンクリート製品協同組合 品質技術委員会

協力：小河原セメント工業株式会社（茨城県水戸市）



優秀作品「Rain Collect」

コンクリートを学ぶ特別授業、デザインが形になる喜びを実感する学生たち

授業の冒頭では、当社代表がコンクリートの物理的性質や型を作る際の注意点について解説。特殊形状のコンクリートを作るための型づくりの技術を実演しました。

コンクリート技術を活かしたプランターの製品化プロセスを、実践を通じて学ぶ機会に、学生たちは実演に参加し、時には質問を投げかけるなど積極的に参加。図面上のアイデアが実際の製品へと形になっていくプロセスを体験しました。